

## 第2章 幼稚園教諭及び保育士対象調査

### 第1節 調査の概要

#### 1 調査の目的

この調査では、幼稚園教諭及び保育士を対象に、乳幼児を持つ親の気になる行動の実態を把握し、気になる行動が引き起こされている要因を男女共同参画の視点から読み解き、親の成長を通じた子育て支援の課題を研究し、今後の子育て世代への応援プログラムづくりの資料として活用することを目的とする。

#### 2 調査の項目

	構 成		項 目
1	基本的属性		幼稚園教諭及び保育士のプロフィール
2	幼稚園教諭及び保育士の保護者の行動に関する意識	ア	登園時やお迎えの時に職員に挨拶をしない
		イ	他の保護者とコミュニケーションがうまくとれないようだ
		ウ	子どもに朝ごはんを食べさせていないようだ
		エ	子どもに夜更かしをさせているようだ
		オ	子どもの衣服が汚れている
		カ	幼稚園・保育園の決まりを守らない
		キ	幼稚園・保育園に対して過度な要求をする
		ク	しつけを幼稚園・保育園任せにしている
		ケ	マナーが悪い
		コ	職員の話(アドバイス等)を聞き入れない
3	自由記述		

#### 3 調査対象

- (1) 調査実施地域 幼稚園：青森・弘前・八戸・五所川原・むつ市  
保育園：青森県保育士連合会研修会場にて実施のため、県内全域
- (2) 調査対象 幼稚園教諭及び保育士
- (3) 標本数 397人（幼稚園教諭 156人、保育士 241人）

##### 【幼稚園内訳】

調査対象数	幼稚園教諭
青森市	29
弘前市	19
八戸市	58
五所川原市	12
むつ市	38
合計	156

## 4 調査方法

幼稚園教諭：幼稚園へ郵送配布・郵送による回収

保育士：青森県保育士連合会研修会場にて配布・回収

## 5 調査期間

平成 21 年 7 月 20 日～平成 21 年 9 月 10 日

## 6 回収結果

調査対象者数 397 人

回収数 317 人

回収率 79.8%

## 7 分析方法

分析に当たり、単純集計及びクロス集計を実施した。

クロス集計の種類

[勤続年数別の比較]=1～5 年未満、5～10 年未満、10 年以上

(なお、1 年未満の勤続年数の回答者は少ないため割愛)

## 8 本調査報告書の留意点

比率は百分率 (%) で表し、小数点以下第 2 位を四捨五入し、小数点以下第 1 位までの値で表示している。従って合計が 100%にならない場合がある。

複数回答項目については、回答者数を分母として百分率を算出している。また、図表中では分母の数を  $N=(\text{分母の数})$  と表記している。

図表及び文章中において、選択肢の表記は、煩雑な表現を避ける目的で一部省略している。

また、「保育園」及び「保育所」に関して、本調査報告書においては「保育園」と表記する。

なお、調査のために配布したアンケート用紙には「保育園 (所)」と記載されている。

自由記述については、記述内容を整理し、大きく 3 つのカテゴリーに分けて記載した。

## 9 幼稚園と保育園の違いについて (留意点)

幼稚園は学校教育法に基づき、対象となる子どもの年齢が満 3 歳から小学校就学の始期に達するまでの幼児であるのに対し、保育園は児童福祉法に基づき、保育に欠ける乳児 (1 歳未満)、幼児 (1 歳から小学校就学の始期まで) である。

また、保育時間については、幼稚園は原則として 1 日 4 時間が標準なのに対し、保育園は原則として 1 日 8 時間である。

## 10 倫理的配慮

調査の実施に際しては、施設及び回答者に対して文書若しくは質問紙の冒頭で調査の趣旨を説明し、同意を得た上で協力をいただいている。また、設問に対して回答拒否を認めている。この他、調査は無記名で実施しているため、回答票から個人を特定することはできない。